



Made for ideas.

LACIE D2 THUNDERBOLT 2 | USB 3.0 ユーザー マニュアル



ここをクリックするとこのドキュメントの最新のオンラインバージョンに

アクセスできます。この最新のオンラインバージョンでは、最新のコンテンツ、拡張可能なイラスト、より簡単になったナビゲーション、検索機能をご利用いただけます。



はじめに

LaCie d2 Thunderbolt™ 2 のユーザー マニュアルによろこそ。
LaCie の Thunderbolt 2 ストレージ筐体は、最大 20Gb/s の双方向転送が可能です。Thunderbolt 2 テクノロジーに対応しているコンピュータに LaCie d2 を接続すると、4K ビデオやグラフィックで究極のパフォーマンスを実現できます。LaCie d2 は、非常に高いパフォーマンスを必要とするプロの編集者、写真家、グラフィック アーティストの方々が、オフィスや現場で使用するために最適です。



LaCie d2 には、USB 3.0 ポートも搭載されています。USB 3.0 ポートを搭載しているコンピュータへ接続すると、最大 5Gb/s の転送速度を実現できます。USB 3.0 には下位互換性があるため、USB 2.0 ポートを搭載しているすべてのコンピュータにも接続できます。

このマニュアルでは、LaCie d2 の接続手順をご紹介します。その機能について説明しています。インストールまたは使用についてご質問のある場合は、[ヘルプが必要な場合](#) ページをご覧ください。

パッケージの内容

- LaCie d2
- Thunderbolt ケーブル
- USB 3.0 ケーブル (USB 2.0 互換)
- 外部電源装置
- クイック インストール ガイド

重要な情報: 梱包箱は捨てないでください。ハードドライブの修理または点検が必要になった場合、必ず製品の梱包箱に梱包してご返送ください。

ソフトウェアスイート

インストール中に、以下のソフトウェアユーティリティをインストールするオプションがあります。

- Intego® Backup Assistant (Mac®)
- LaCie Genie® Timeline (Windows®)
- LaCie Private-Public (AES 256 ビット暗号化でデータを保護します)

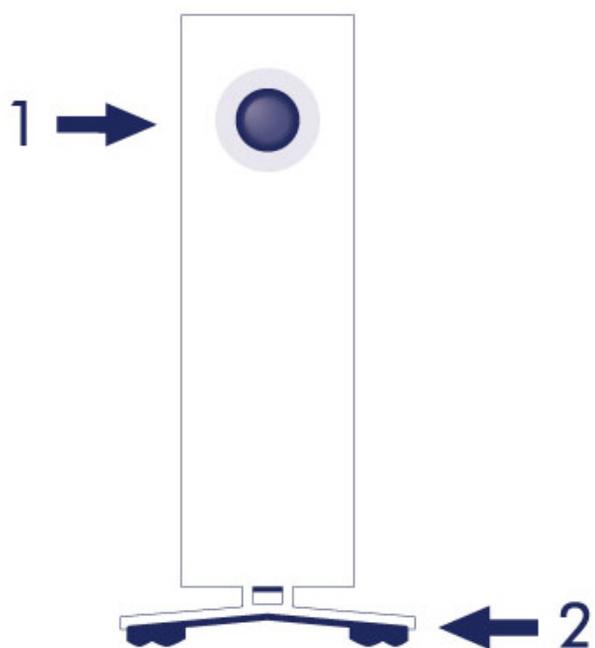
最小システム要件

LaCie 製品を正しく動作させるには、ご使用のシステムが一定の条件を満たしている必要があります。これらの条件のリストについては、製品のパッケージをご覧ください。または <http://www.lacie.jp/index.html> の製品サポート web ページを参照してください。

ご注意: 日本市場でのLaCie商品販売はエレコム株式会社が行っております。LaCie製品は海外でも幅広く販売されており、LaCie社が管理・運営するグローバルサイト、Webリンク先の情報、商品、ソフトウェア、サービス等は、日本市場でお取り扱いの無い、またはサポート対象外のものも含まれます。あらかじめご了承ください。

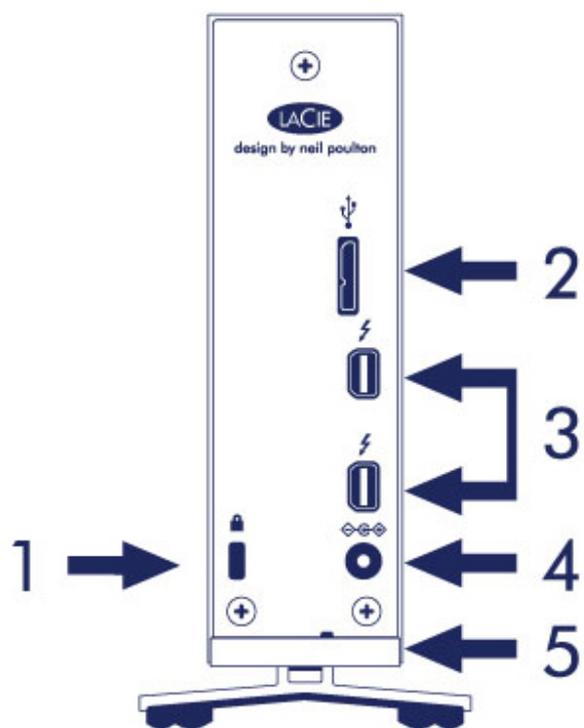
ハードドライブ筐体の外観

正面図



1. ハードドライブのステータス LED
2. 振動を減衰するゴム製の脚

背面図



1. Kensington® ロック スロット
2. USB 3.0 ポート
3. Thunderbolt 2 テクノロジー ポート (2 ポート)
4. 電源装置の接続部
5. 組み込みのケーブル ロック

技術仕様

電源供給

100-240V、50/60Hz、18W

寸法

幅	奥行き	高さ
60 mm / 2.4 インチ	217 mm / 8.5 インチ	130 mm / 5.1 インチ

重量

容量	重量
3TB	1.3 Kg / 2.9 ポンド
4TB	1.4 Kg / 3.1 ポンド
6TB	1.5 Kg / 3.2 ポンド

配置と積み重ね

LaCie d2 は必ず、専門用途向けハードドライブ筐体の熱放出と空気の流れを補助できる、凹凸のない平面に置いてください。適切な熱分散のために、LaCie d2 はスタンドに立てるよう設計されています。電源が入っている状態で、筐体を横倒しにしないでください。

LaCie d2 は積み重ねには対応していません。積み重ねると、落下するという重大なリスクが生じます。LaCie d2 の上に他のドライブ、筐体、あるいは機器類を積み重ねないでください。

以下の項目に該当する場合、LaCie d2 の保証は無効となります。

- 他のデバイスの上に LaCie d2 の筐体を積み重ねた場合。
- LaCie d2 の上に他のドライブ、筐体、あるいは機器類を積み重ねた場合。

LACIE D2: 高度なストレージテクノロジー

THUNDERBOLT 2 テクノロジー

LaCie d2 Thunderbolt 2 に使用されている Thunderbolt 2 テクノロジーは、コンピュータの最も高速で柔軟な接続方法です。第一世代の Thunderbolt テクノロジーでは最大 10Gb/s の双方向転送が使用でき、Thunderbolt 2 テクノロジーでは最大 20Gb/s の双方向転送が可能になります。さらに Thunderbolt 2 テクノロジーでは、ビデオストリームが優先的に処理され、再生に必要な帯域幅が割り当てられます。これは、ハイエンドのビデオや 3D グラフィックを使用するときに決定的な利点となります。

たとえば、エディタで2つのストリームを使用しており、片方が 4K ビデオで 12Gb/s、もう片方がデータで 4 Gb/s の場合を考えてみます。第一世代の Thunderbolt テクノロジーではビデオ信号の処理に困難が生じますが、Thunderbolt 2 テクノロジーでは問題なく処理でき、再生に必要な帯域幅が割り当てられます。

ケーブルについての重要な情報: Thunderbolt の筐体をコンピュータまたは対応機器に接続するときは、Thunderbolt テクノロジーをサポートするために専用に構築されたケーブルを使用してください。

重要な情報: Thunderbolt の筐体は、Thunderbolt テクノロジー対応のコンピュータに接続する必要があります。デバイス背面のポートには Mini DisplayPort ケーブル エンドを簡単に接続し、ディスプレイをダイジー チェーン接続できますが、Thunderbolt ストレージは、Thunderbolt テクノロジーをサポートするコンピュータに接続した場合のみ動作します。

LACIE D2 テクノロジー: ファン不要の冷却

動作中の騒音を緩和するために、LaCie d2 の内蔵スタンドには振動を減衰するゴム製の脚が搭載されています。さらに、LaCie d2 のメタル ケースがドライブからの熱を消散するため、騒音のない、ファン不要の冷却が可能となっています。LaCie の独特な設計が内部のハード ドライブ ケースから熱を引き出すため、長時間の使用後に外部筐体を触ると温かく感じます。

LaCie d2 の外側の特殊構造は、ファン不要の冷却システムを通じてハード ドライブの寿命を延ばすことができます。ハード ドライブを外的な力から保護するために、LaCie d2 の筐体内には衝撃耐性のあるゴム製のディスクマウントが内蔵されています。

LaCie d2 には、次のような特長があります。

- デスクトップで使用するのに便利
- 筐体の前面にアルミニウムを使用し、筐体すべてが金属製
- Thunderbolt 2 テクノロジーのポート 2 つを搭載し、ポートごとに最大 20Gb/s の双方向転送が可能
- USB 3.0 ポートにより、最大 5Gb/s の汎用接続が可能
- Thunderbolt 2 および第一世代 Thunderbolt デバイスのデイジー チェーン接続 (コンピュータを含めて 7 台までのデバイスを接続可能)

LaCie d2 SSD オプション

SSD オプションを追加すると、LaCie d2 のパフォーマンスを劇的に向上できます。LaCie d2 SSD オプションは PCIe SSD で、LaCie d2 の筐体にぴったり収まるように構築されています。設置された PCIe SSD はハード ドライブと連携して動作し、標準構成の LaCie d2 と比べて 5 倍以上の転送速度を実現できます。

LaCie d2 SSD オプションの詳細については、を参照してください。

LED 電源ボタン

LaCie ハード ドライブの前面には、多機能 LED があります。

LED の状態

LED の動作	状態
オフ	製品がオフになっています。USB ケーブルが電源が入っているコンピュータに接続されていないか、電源ケーブルが電気が通っている電源コンセントに接続されていません。
30 秒間オフ、青色に点滅、30 秒間オフなど	製品のボリュームがホスト コンピュータでアンマウントされているか、ホスト コンピュータによって製品がスリープ モードとなっているか、ホスト コンピュータがスリープ モードにあるか、いずれかの理由によって製品が節電モードとなっています。以下の技術情報を参照してください。
青色に連続点灯	製品の電源が入っており、ハード ドライブがアクセス可能な状態です。
点滅	通常動作中には、LED が点滅し、ハード ドライブへのアクセスを示します。

節電モードと Windows についての技術的な注意事項: Windows 8 またはそれ以降を実行している PC では、LaCie d2 を節電モードに移行できます。ただし、LED が30 秒ごとに青色に点滅する代わりに、オフのままになる可能性があります。

電源供給

LaCie d2 は、以下の状態になると自動的に電源が入ります。

- Thunderbolt 2 または USB ポートを介してコンピュータに直接接続された場合。コンピュータの電源が入っている必要があります。
- 付属の電源装置が、電気が通っている電源に接続された場合。

ポートについての重要な情報: LaCie d2 は、USB 3.0 ポートまたは Thunderbolt 2 ポートを使用してコンピュータへ接続できます。ただし、1 台のコンピュータへ両方のポートを同時に接続する、または各ポートを別のコンピュータへ接続することはできません。

USB 3.0 接続についての注意: LaCie d2 は、コンピュータの USB 2.0 ポートに接続できます。SuperSpeed USB 3.0 の転送速度を使用するには、筐体を USB 3.0 ポートのあるコンピュータに接続する必要があります。

LED ボタン

LED は、LaCie d2 を電源オン/オフするために使用できるボタンです。

電源をオフにする

デバイスをオフにするには、以下の手順に従います。

1. LaCie d2 のボリュームにアクセスしていないことを確認します。
2. LaCie d2 のボリュームを取り外します。手順については、[ハードドライブのアンマウント](#) を参照してください。ボリュームが正しく取り外されると、LaCie d2 は節電モードに入ります。
3. LED ボタンを長押し (4秒間以上) します。LED が青色で連続点灯してからオフとなります。

電源をオンにする

ほとんどの場合、LaCie d2 は、コンピュータや電気の通っている電源に接続すると、自動的に電源が入ります。しかし、次の 2 つの条件を満たす場合、LED ボタンを使用してデバイスの電源を入れることができます。

- LaCie d2 を長押しでオフにしていること
- LaCie d2 がコンピュータの USB ポートおよび電気の通っている電源に接続されたままであること

LaCie d2 に電源を入れるには、LED ボタンを 1 秒間押しっぱなしにします。

節電モード (Thunderbolt 2 接続のみ)

LaCie d2 は、節電モードに入ることによってエネルギーを節約できます。LaCie d2 が節電モードのとき、筐体内のハードドライブがスピンダウンし、電力消費を減らします。節電モードでは、長時間の非アクティブ期間中の動作を抑えることで、ハードドライブの寿命を延ばすことができます。LaCie d2 が Thunderbolt 2 ポートを経由して接続されているとき、LED ボタンを使用して節電モードへ移行できます。LaCie d2 を節電モードへ移行するには、以下の手順に従ってください。

1. LaCie d2 のボリュームにアクセスしていないことを確認します。
2. ボリュームをイジェクトします ([ハードドライブのアンマウント](#)を参照してください)。
3. LED ボタンを短く押します。短く押すというのは、1 秒間以内を意味します。

LaCie d2 をウェークアップするには、再度短く押します。

節電モード: デイジーチェーン接続

LaCie d2 が節電モードのとき、Thunderbolt 2 テクノロジーと第一世代 Thunderbolt テクノロジーのデバイスをデイジーチェーン接続できます。LaCie d2 が節電モードに移行するとき、ハードドライブはスピンダウンしますが、Thunderbolt 2 の信号は一定に保たれます。このため、デイジーチェーン接続されたデバイスは引き続き、中断せずにデータ処理を行います。詳細については、[デイジーチェーン \(Thunderbolt 2\)](#) を参照してください。

節電モード: PC/Mac による管理

コンピュータから、以下のいずれかの操作で節電モードを開始できます。

- ホスト コンピュータをスリープ モードにします。
- **Mac:** [System Preferences (システムの環境設定)] > [Energy Saver (省エネルギー)] へ移動し、ハード ドライブのスリープ モードを有効化します。
- **Windows 8:** [Control Panel (コントロール パネル)] > [Hardware (ハードウェア)] > [Power Options (電源 オプション)] > [Choose a power plan (電源プランの選択)] > [Change advanced power settings (詳細な電源設定の変更)] に移動します。[Hard disk (ハード ディスク)] をクリックし、[Turn off the hard disk after (次の時間が経過後ハード ディスクの電源を切る)] をクリックします。USB ハード ドライブをスピンドア ンするまでの時間を選択します。

節電モードを終了するには、以下の表を参照してください。

節電モードへの移行	節電モードの終了
非アクティブのためホストコンピュータによって製品が節電モードとなりました。	ホストコンピュータ上の LaCie d2 のボリュームにアクセスします。たとえば、ファイルをそのボリュームにコピーします。
コンピュータがスリープ モードになっています。	コンピュータをスリープから復帰させます。

ボリュームの取り外しと節電モードについての注意: LaCie d2 は、ボリュームが取り外されると節電モードに入ります。LaCie d2 のボリュームにアクセスするには、USB ケーブルをデバイスの背面から抜き、再度接続します。

ケーブルおよびコネクタ

MAC



THUNDERBOLT 2

LaCie 製品には、最も柔軟性の高いインターフェイスである Thunderbolt 2 テクノロジーが採用されています。Thunderbolt 2 テクノロジーに対応しているコンピュータに接続すると、LaCie デバイスはシングルポートで 20 Gb/s の双方向転送をサポートします。これは PC で利用可能な最高速のデータ接続です。

また、第一世代 Thunderbolt テクノロジーに対応しているコンピュータに、Thunderbolt 2 テクノロジーのストレージデバイスを接続することもできます。ただし、第一世代テクノロジーでは、転送速度は最大 10Gb/s の双方向転送に制限されます。

データストリームと mini DisplayPort ビデオに対応しているため、ストレージ周辺機器またはディスプレイを Thunderbolt ポートに接続できます。ただし、mini DisplayPort ケーブルを使用して、ストレージ周辺機器を Thunderbolt ポートに接続することはできません。Thunderbolt ケーブルを使用してください。

コネクタ端面 (コンピュータ側)	ケーブルの末端 (コンピュータ側)	ケーブルの末端 (製品側)	コネクタ端面 (製品側)
			

Thunderbolt 2 についての注意: Thunderbolt 2 の転送速度を活用するには、Mac に Thunderbolt 2 ポートが搭載されている必要があります。

PC/MAC

USB 3.0

USB は、周辺装置とコンピュータを相互に接続するためのシリアル入力/出力テクノロジーです。SuperSpeed USB 3.0 は、この規格の最新の実装であり、広い帯域幅と新たな電源管理機能を提供します。

転送速度は最高 5 Gbits/s のであり (USB 2.0 では 480 Mbits/s)、理論的には USB 3.0 ではプロセッサの最大 10 倍の速度を実現できます (実際にはこの数値より低くなります)。

本製品には、対応性のある USB 3.0 ポートに接続されたときに最高のデータ転送性能を確保するための SuperSpeed USB 3.0 ケーブルが同梱されています。ケーブルは USB 2.0 または USB 1.1 ポートに接続しても機能しますが、ドライブのパフォーマンスはそれぞれの転送速度に制限されます。

コネクタ フェース (コンピュータに接続)	ケーブルの末端 (コンピュータに接続)	ケーブルの末端 (ハードドライブに接続)	コネクタ フェース (ハードドライブに接続)
			

USB 3.0 についての注意: USB 3.0 の転送速度を活用するには、PC または Mac に USB 3.0 ポートが搭載されている必要があります。

ケーブル管理

最適な配置とセキュリティを実現するため、LaCie d2 にはケーブル ロックが搭載されています。

接続

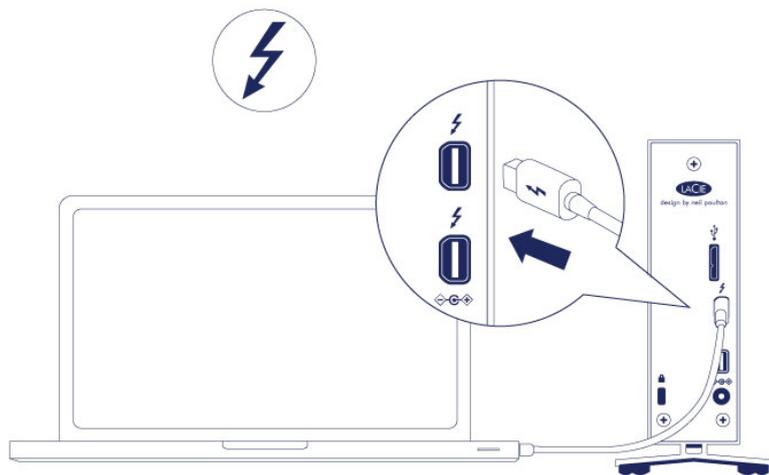
ご使用のコンピュータで LaCie ハード ドライブのボリュームが正しくマウントされるよう、以下の手順を必ず記載順に実行してください。

接続についての注意: Thunderbolt 2 を Mac に接続する場合、Thunderbolt 2 または第一世代 Thunderbolt のポートを使用してください。Thunderbolt 2 テクノロジーを使用すると、最大 20Gb/s の双方向転送が可能です。第一世代 Thunderbolt テクノロジーでは、最大 10Gb/s の双方向転送がサポートされません。

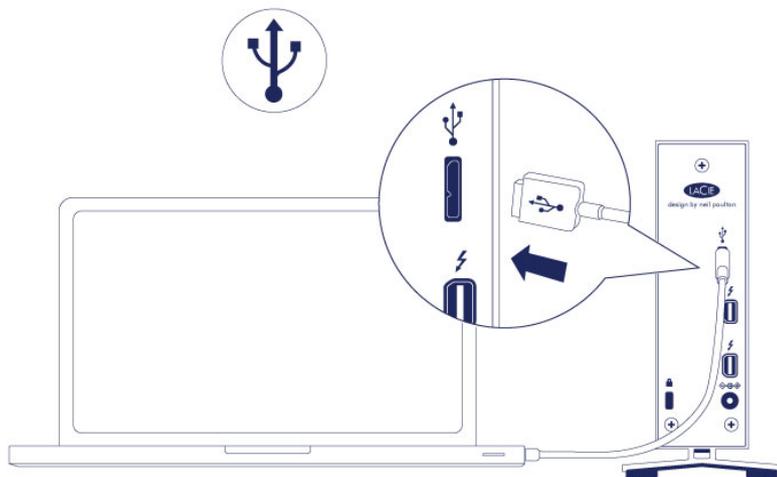
ステップ 1 - インタフェース ケーブルの接続

LaCie d2 のインタフェース ケーブルをコンピュータに接続します。

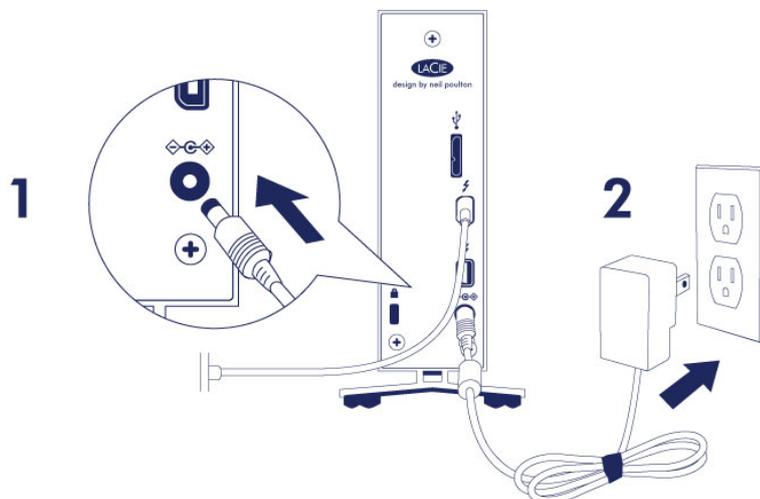
- Thunderbolt 2 (Mac)



- USB 3.0 (PC/Mac)



ステップ 2 - 電源の接続



次の順序で電源を接続します。

1. LaCie d2 の背面にある電源入力ポート
2. 電気が通っている電源コンセント

電源が入っているコンピュータと電気が通っている電源コンセントに LaCie d2 を接続すると、自動的に電源が入ります。

注記: ハードドライブのボリュームがコンピュータにマウントされない場合は、[ヘルプが必要な場合](#)にあるトラブルシューティングのトピックを参照してください。

ステップ 3 - LACIE SETUP ASSISTANT の起動

ドライブを使用する前に、必ず LaCie Setup Assistant ソフトウェアを起動してください。このソフトウェアでは次のことを実行できます。

- ユーザーのニーズに合わせてハード ドライブを簡単にフォーマットできます
- ユーザー マニュアルをコンピュータにコピーします
- お使いの LaCie デバイスを登録します
- 追加機能を提供するソフトウェアをインストールします

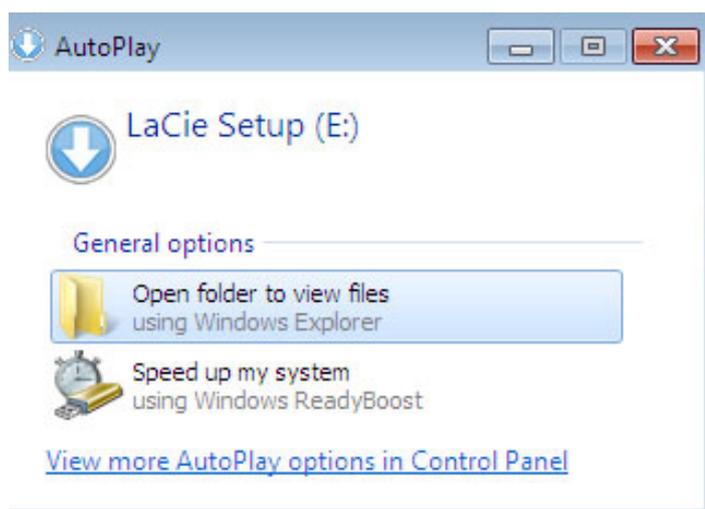
重要な情報： LaCie Setup Assistant を起動していなかったり、またフォーマットの完了前に LaCie Setup Assistant を終了してしまうと、ハード ディスクの使用準備が整わないため手動でフォーマットする必要があります。

ユーザー マニュアルやユーティリティはアクセスが不可能になるため、次の LaCie Web サイトからダウンロードする必要があります。www.lacie.com/jp/support/

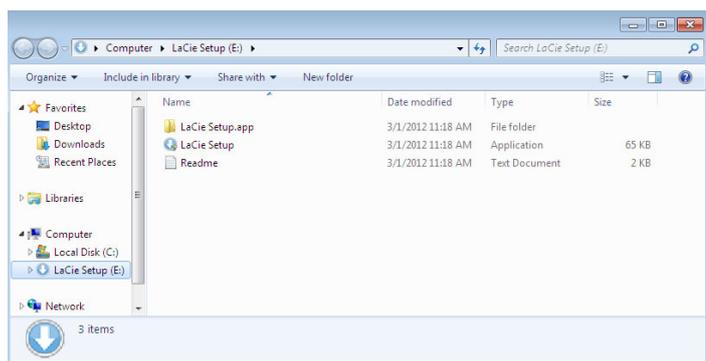
LaCie Setup Assistant の起動

Windows をご使用の方

自動再生: LaCie のハードドライブをコンピュータに接続するとすぐに、Windows 自動再生により検出される場合があります。自動再生ウィンドウが表示されたら、[フォルダを開いてファイルを表示 - Windows エクスプローラを使用] をクリックし、[LaCie セットアップ] をダブルクリックします。



手動アクセス: **[コンピュータ]** (Windows XP の場合は **[マイ コンピュータ]** の **[LACIE SETUP]** ボリュームを開き、**[LaCie Setup]** をダブルクリックします。



Mac をご使用の方

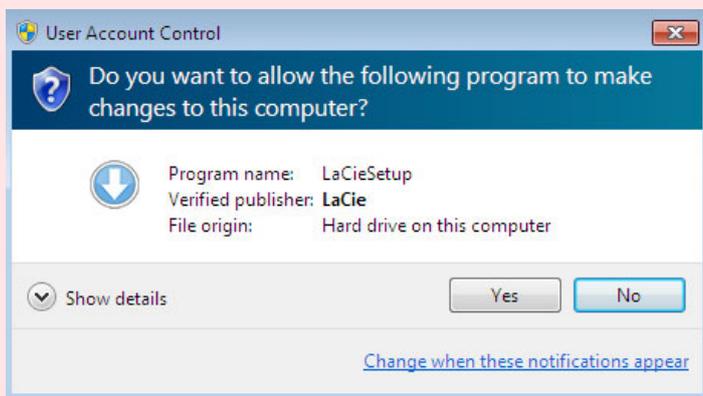
デスクトップに表示される **[LACIE SETUP]** ボリュームをダブルクリックし、**[LaCie Setup (スタート)]** をダブルクリックします。



セットアップ

LaCie Setup Assistant を使用した場合でも、コンピュータの標準ディスクユーティリティプログラムで LaCie ディスクのフォーマットやパーティションを行えます。Setup Assistant を完了させた後、Windows の場合は [ディスクの管理]、Mac の場合は [ディスクユーティリティ] を使ってハードディスクを再フォーマットできます。

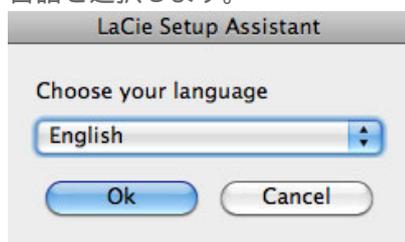
Windows をご使用の方のための重要な情報： LaCie Setup Assistant の実行中に、一般的なポップアップウィンドウが開き、コンピュータの設定を変更したいかどうかを尋ねる場合があります。ディスクをフォーマットするとき、または Genie Timeline などの一部のソフトウェアをインストールしているときは、これは通常のリクエストです。LaCie Setup Assistant を正常に完了させるために、LaCie ではこれらの設定の変更に同意することをお勧めします。



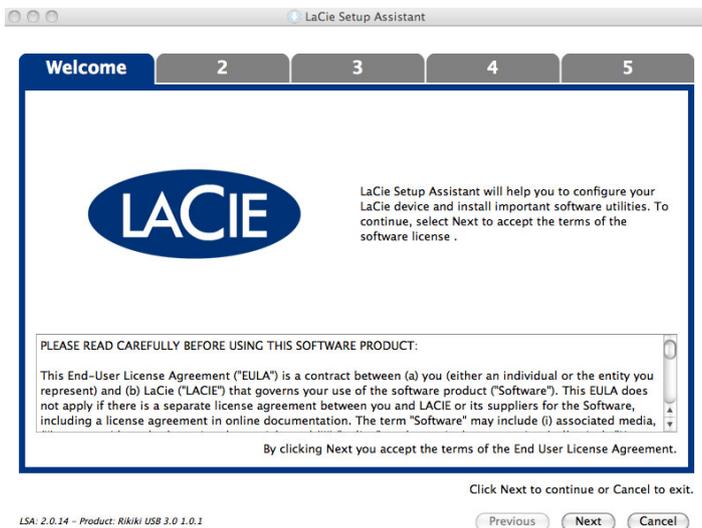
Mac ユーザー向けの重要な情報： LaCie セットアップアシスタントを続行するには、コンピュータのパスワードを入力するように指示される場合があります。

以下に記載された画面上の指示にしたがってドライブをフォーマットし、ロード済みのソフトウェアをインストールします。

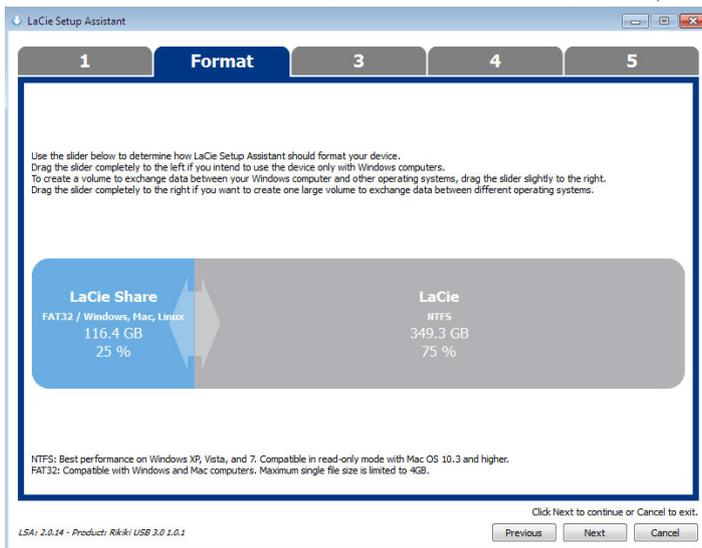
1. 言語を選択します。



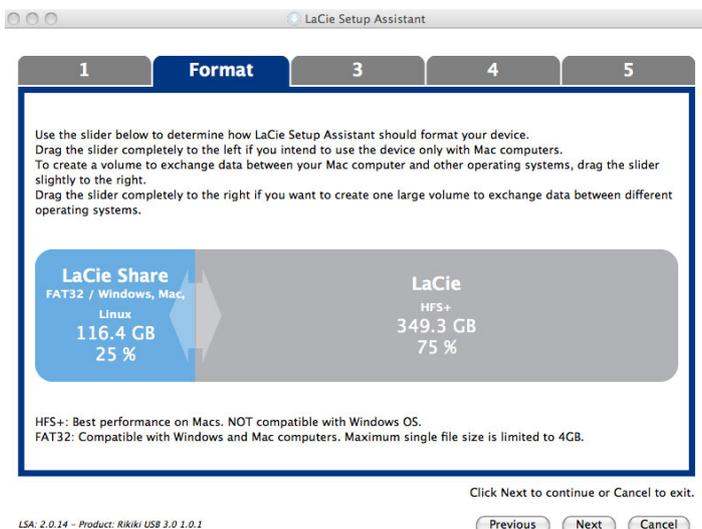
2. ライセンス契約を読み、**[Next (次へ)]** をクリックします。**[Next (次へ)]** をクリックすると、ライセンス契約を受け入れることが確定入力されます。



3. スライダを使用して LaCie ハード ドライブをパーティションします。スライダを左に動かすと、**Compatible** (対応) ボリューム (LaCie Share と名前がつけられた製品もあります) のサイズが小さくなります (Windows および Mac の場合)。**Compatible** (対応) / **LaCie Share** ボリュームが不要な場合は、スライダを左端まで動かしてください。ご使用のオペレーティングシステム用 (Windows では NTFS、Mac では HFS+) に LaCie のボリュームがフォーマットされます。選択を行ったら、**[Next (次へ)]** をクリックしてフォーマットを開始します。

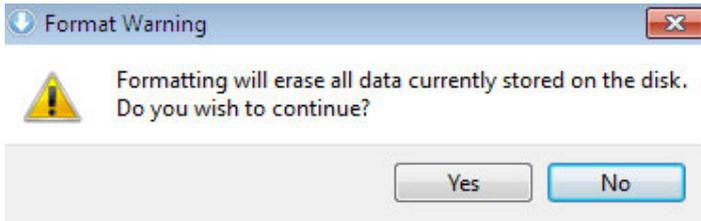


Windows

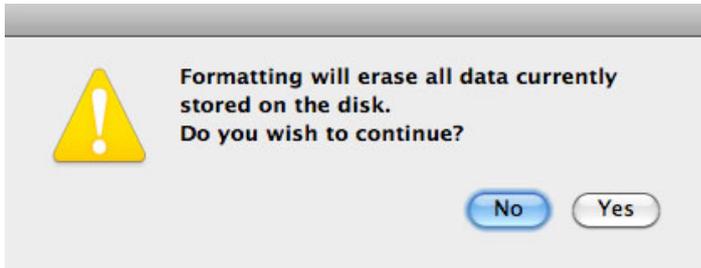


Mac

4. ディスクをフォーマットすることについて警告するウィンドウ プロンプトが表示されます。[Yes (はい)] を選択して続行します。

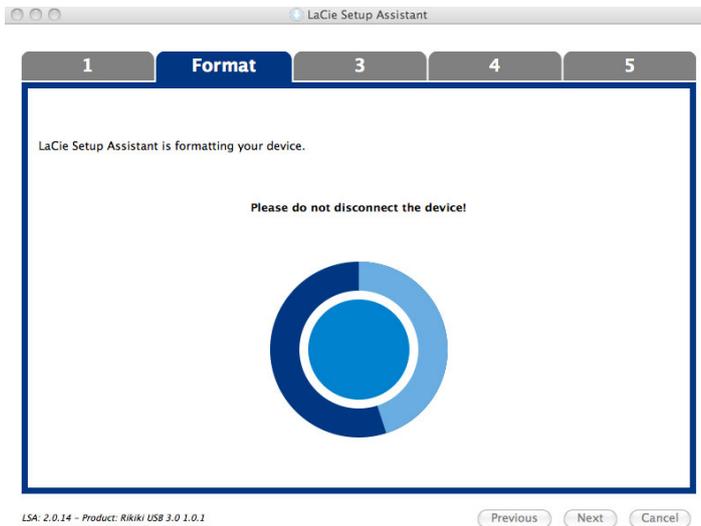


Windows

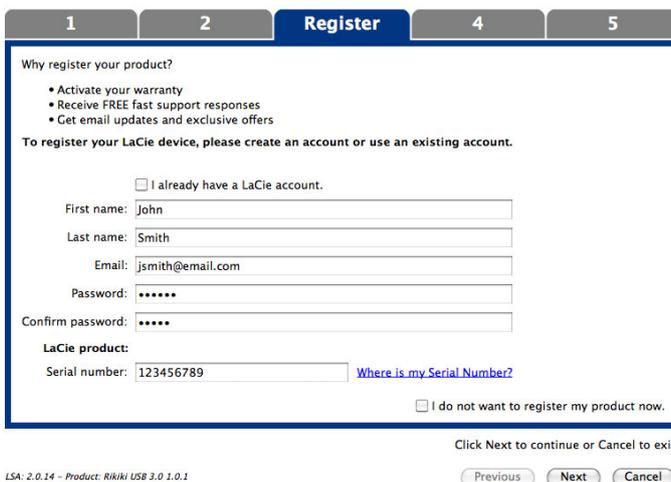


Mac

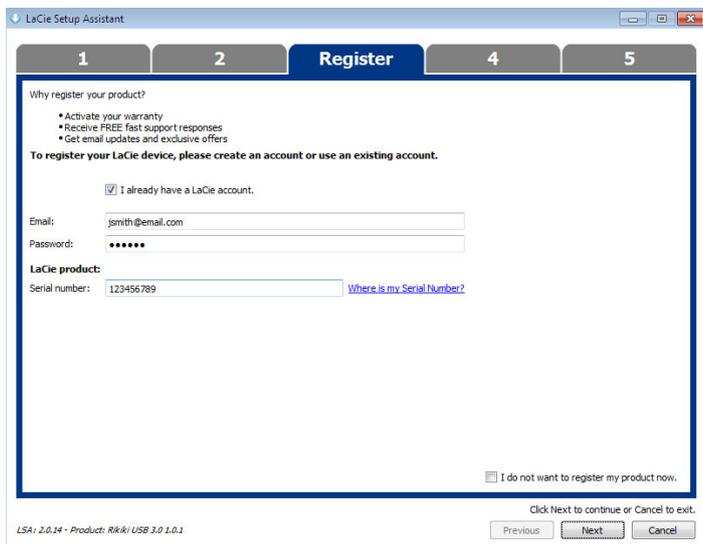
5. LaCie Setup Assistant がドライブをフォーマットします。



6. お使いの LaCie デバイスを登録します。[次へ] をクリックして続行します。

A screenshot of the LaCie Setup Assistant window, showing the "Register" step. The progress bar at the top has "Register" selected. The main area asks "Why register your product?" and lists benefits: "Activate your warranty", "Receive FREE fast support responses", and "Get email updates and exclusive offers". It then says "To register your LaCie device, please create an account or use an existing account." and provides a checkbox for "I already have a LaCie account." Below this are input fields for "First name" (John), "Last name" (Smith), "Email" (jsmith@email.com), "Password" (masked with dots), and "Confirm password" (masked with dots). There is also a "LaCie product" section with a "Serial number" field (123456789) and a link "Where is my Serial Number?". At the bottom, there is a checkbox for "I do not want to register my product now." and "Click Next to continue or Cancel to exit." buttons. The footer text reads: "LSA: 2.0.14 - Product: Rikiki USB 3.0 1.0.1".

New Account (新規アカウント)



Existing Account (既存アカウント)

- インストールしたいソフトウェア ユーティリティを選択します。メッセージが表示された場合、ソフトウェア ユーティリティをインストールしてから、LaCie セットアップ アシスタントを続行してください。
- [次へ] をクリックして続行します。
- LaCie Setup Assistant がインストールの概要を提供します。【Finish (終了)】をクリックしてプログラムを閉じます。LaCie ハード ドライブをご使用いただく準備が整いました。

ソフトウェアは製品のストレージにインストールされ、お客様のコンピュータにはインストールされません。[Compatible (対応)] という名前のボリュームがある場合はこれにインストールされ、ない場合は[LaCie]にインストールされます。

重要な情報： LaCie ソフトウェア ユーティリティはいつでもインストールできます。フォーマットが完了すると、LaCie セットアップ アシスタント アプリケーションが次の場所で利用できるようになります。

- LaCie: 1 つのパーティションを作成した場合。
- Compatible (対応) /LaCie Share: 2

ソフトウェア ユーティリティをインストールするには、LaCie Setup Assistant を起動し、上記のステップに従います。

ハードドライブの切断

ファイルシステムの破壊を防止するため、インタフェースケーブルを取り外す前には、必ずハードドライブボリュームをアンマウントしてください。詳細については、[ハードドライブのアンマウント](#)を参照してください。

デイジー チェーン (THUNDERBOLT 2):

筐体に搭載されている 2 つの Thunderbolt 2 テクノロジー ポートは、次の目的に使用されます。

- Thunderbolt 2 テクノロジー、または第一世代の Thunderbolt テクノロジーに対応しているコンピュータに直接接続します。
- Thunderbolt 2 テクノロジーおよび第一世代の Thunderbolt テクノロジーに対応しているデバイスやディスプレイとデイジー チェーン接続します。

デイジー チェーン: THUNDERBOLT 2 テクノロジーと第一世代の THUNDERBOLT テクノロジー

Thunderbolt 2 テクノロジーは、第一世代の Thunderbolt テクノロジーの更新版です。Thunderbolt テクノロジーは最大 10Gb/s の双方向転送が使用できる優れたテクノロジーですが、Thunderbolt 2 テクノロジーではさらにパフォーマンスが向上し、最大 20Gb/s の双方向転送が可能になります。また、Thunderbolt 2 テクノロジーではビデオとデータを使用するときの柔軟性が増しており、多くの負荷を搬送するストリームに対して、より多くのスループットを割り当てることができます。パフォーマンスの向上や、帯域幅のインテリジェントな共有などの利点を活用するには、コンピュータが Thunderbolt 2 テクノロジーに対応している必要があります。

第一世代の Thunderbolt テクノロジーと同様に、Thunderbolt 2 テクノロジーではコンピュータを含めて 7 台までのデバイスを、1 つのラインにデイジー チェーン接続できます。たとえば、5 つの LaCie d2 Thunderbolt 2 筐体を、ディスプレイと同じラインにデイジー チェーン接続できます。コンピュータが Thunderbolt 2 テクノロジーに対応していれば、すべてのデバイスについて最大 20Gb/s の転送速度を利用可能です。

また、第一世代 Thunderbolt テクノロジーのデバイスを含むデイジー チェーンに、LaCie d2 を追加することもできます。たとえば、コンピュータが Thunderbolt 2 テクノロジーに対応している場合、3 つの第一世代 Thunderbolt テクノロジーのストレージ デバイスと、MiniDisplay ポートのディスプレイを含むデイジー チェーンに、LaCie d2 を追加できます。このような場合、コンピュータに接続されている最初の筐体が LaCie d2 であることを確認してください。Thunderbolt 2 デバイスが、第一世代の Thunderbolt デバイスやディスプレイの後にデイジー チェーン接続されている場合、Thunderbolt 2 の高い性能を活用できません。

デージー チェーン接続の方法

LaCie d2 の背面にある Thunderbolt 2 ポートのいずれかと、コンピュータに、Thunderbolt ケーブルを接続します。追加のポートは、ハードドライブやモニタなど、第一世代の Thunderbolt および Thunderbolt 2 周辺機器をデージー チェーン接続するために使用できます。別の Thunderbolt 2 ストレージ デバイスを保有している場合、第一世代の Thunderbolt テクノロジーのデバイスやディスプレイを追加するよりも前に、そのデバイスを LaCie d2 に接続してください。

ケーブルについての重要な情報: 筐体をコンピュータまたは対応機器に接続するときは、Thunderbolt テクノロジーをサポートするために専用構築されたケーブルを使用してください。Thunderbolt テクノロジーのケーブルは、Thunderbolt 2 テクノロジーのデバイス、および第一世代の Thunderbolt テクノロジーのデバイスと互換性があります。

重要な情報: Thunderbolt 2 テクノロジーで最大 20Gb/s の双方向転送を使用するには、LaCie d2 を接続するコンピュータが Thunderbolt 2 テクノロジーに対応している必要があります。LaCie d2 を接続するコンピュータが第一世代 Thunderbolt テクノロジーに対応している場合、使用できるのは最大 10Gb/s の双方向転送です。

デージー チェーン: 節電モード

LaCie d2 が節電モードのとき、Thunderbolt 2 テクノロジーと第一世代 Thunderbolt テクノロジーのデバイスをデージー チェーン接続できます。LaCie d2 が節電モードに移行するとき、ハードドライブはスピンドウンしますが、Thunderbolt 2 の信号は一定に保たれます。このため、デージー チェーン接続されたデバイスは引き続き、中断せずにデータ処理を行います。

に示されているように、[LED 電源ボタン](#) Mac オペレーティング システムで、LaCie d2 が自動的に節電モードへ移行するよう設定できます。ただし、LaCie d2 デバイスに電源付きの Thunderbolt 2 デバイスをデージー チェーン接続している場合、節電設定が有効にならないことがあります。たとえば、コンセントから電力を供給されるハードドライブやモニターがこれに該当します。LaCie d2 を手作業で節電モードへ移行するには、以下の手順に従ってください。

1. LaCie d2 のボリュームにアクセスしていないことを確認します。
2. ボリュームをイジェクトします ([ハードドライブのアンマウント](#)を参照してください)。
3. LED ボタンを短く押します。短く押すというのは、1 秒間以内を意味します。

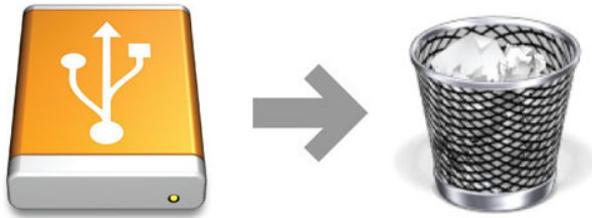
LaCie d2 をウェークアップするには、再度短く押します。

ハードドライブのアンマウント

USB、FireWire、Thunderbolt、および eSATA 外付けデバイスは「プラグ アンド プレイ」接続機能を装備しているため、コンピュータの実行中にメモリ・ストレージデバイスを接続したり、取り外すことができます。ただし、故障を防ぐため、LaCie メモリ・ストレージデバイスを取り外すときにはこれらの手順に従うようにしてください。

MAC をご使用の方

メモリ・ストレージデバイス アイコンをごみ箱にドラッグします。(以下の図は一般的な USB デバイス アイコンです。メモリ・ストレージデバイスは、その形をしたアイコンで表される場合があります)。



デスクトップからアイコンが消えたら、メモリ・ストレージデバイスを取り外せます。

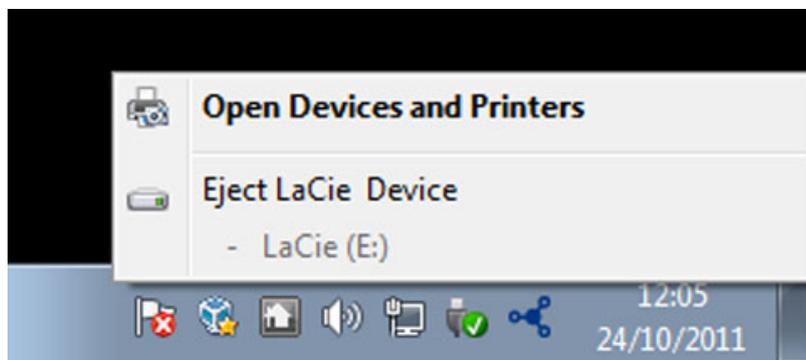
WINDOWS 7 または WINDOWS 8 をご使用の方

画面右下にあるシステムトレイから、[取り外し]アイコン(ハードウェアの上に小さい緑色の矢印が描かれたイメージ)をクリックします。



安全にマウントを解除できるデバイスについての詳細を知らせるメッセージが表示されます。

マウントを解除するデバイスで [取り外し] を選択します。デバイスを安全に取り外せることを知らせるメッセージが表示されます。



フォーマットおよびパーティション (オプション)

標準の LaCie ストレージ デバイスでは、初めてコンピュータ (PC または Mac) に接続した時に、LaCie Setup Assistant の実行を促すメッセージが表示されます。LaCie Setup Assistant では、ユーザーのニーズに応じてストレージ デバイスを素早くフォーマットできます。

次のような場合、以下の情報を注意深くお読みください。

- LaCie Setup Assistant をフォーマット中に中断する
- LaCie Setup Assistant が正常に終了した後にストレージ デバイスを再フォーマットする
- Setup Assistant が搭載されていない LaCie ストレージ デバイスを所有している

ファイル システム フォーマットについて

Mac

ストレージ デバイスをカスタマイズし、再フォーマットや、いくつかの異なるファイル システム フォーマットにパーティション分割することができます。ストレージ デバイスを 1 つの Mac OS 拡張ボリュームとしてフォーマットおよびパーティションすると、Mac OS 環境で最適なパフォーマンスを得ることができます。

Mac OS 拡張 (HFS+): Mac OS 拡張は、Mac OS X が使用するファイル システムです。HFS+ は、ハード ディスク領域をより効率的に使うことで、古い HFS ファイル システムを最適化したものです。HFS+ を使用すれば、ブロック サイズの制限がなくなります。

FAT 32: FAT 32 は以前のフォーマットで、ファイルの最大サイズは 4GB に制限されています。FAT 32 のパフォーマンスは最適なものより大きく劣るため、LaCie ストレージ デバイスを Mac と Windows コンピュータとの間で共用する場合のみ使用してください。

HFS+ と FAT 32 との比較を次の表に示します。

Mac のファイル システム フォーマット
次の場合は HFS+ を使用します
ストレージ デバイスを Mac のみで使用する場合。FAT 32 より大幅にパフォーマンスが優れています。HFS+ は、Windows には対応していません。
次の場合は FAT 32 を使用します
ストレージ デバイスを Windows と Mac のコンピュータの両方で使用する場合。

Windows

FAT 32: FAT とは、File Allocation Table の頭文字を取ったもので、DOS プログラミングの頃より使用されてきたものです。元来 FAT は 16 ビットのみでしたが、Windows 95 の second release で 32 ビットにアップグレードされ、そのため名前が FAT 32 となりました。

Windows 7 や Windows 8 でも FAT 32 を使用できますが、ボリュームサイズは 32GB、各ファイルのサイズは 4GB までにそれぞれ制限されます。

技術情報: FAT 32 を使用すると、LaCie 製品のパフォーマンスが低下します。

NTFS: これは、New Technology File System の頭文字を取ったもので、Windows 7 および Windows 8 の本来のファイルシステムです。NTFS では、ファイル圧縮、暗号化、アクセス許可、監査、ドライブをミラーリングする機能など、FAT 32 では利用できないいくつかの機能を使用できます。NTFS でサポートされる最小ボリュームサイズは 10MB で、MBR フォーマットで初期化される場合は最大ボリュームサイズは 2TB です。柔軟に使用できるようにするため、ファイルとパーティションのサイズの制限が取り除かれる NTFS と GPT フォーマットを使用してください。NTFS で作成されたボリュームは、Windows 7 および Windows 8 でネイティブに読み書きできます。Mac OS X 10.5 およびそれ以降では、サードパーティーのドライバを使用して NTFS パーティションの読み書きが可能です。

NTFS と FAT 32 との比較を、次の表に示します。

Windows ファイルシステム フォーマット
次の場合は NTFS を使用します
ストレージ デバイスを Windows 7 と Windows 8 のみで使用する場合。NTFS は、FAT 32 より大幅にパフォーマンスが優れています。このファイルシステムは、Mac OS 10.3 および以降では読み取り専用モードで対応しています。
次の場合は FAT 32 を使用します
ストレージ デバイスを Windows と Mac のコンピュータの両方で使用する場合。単一ファイルのサイズは最大 4GB に制限され、パフォーマンスは最適値より大きく低下します。

フォーマット手順

以下に説明する手順は、ストレージ デバイスのフォーマットやパーティション設定を行うときに役立ちます。適切なファイル システム フォーマットの選択については、前述の「**ファイル システム フォーマットについて**」を参照してください。

注意: フォーマットを行うと、ストレージ デバイスのすべてのデータが消去されます。LaCie は、ストレージ デバイスの全データをバックアップしてから以下の手順を実行することを強く推奨します。LaCie ストレージ デバイスのフォーマット、パーティション、または使用において失ったデータについては、LaCie は一切責任を負いません。

重要な情報: LaCie パーティションをフォーマットすると、このパーティションに含まれているユーザーマニュアルやユーティリティが削除されます。ストレージ デバイスをフォーマットする前に、LaCie パーティションに含まれているドキュメントやソフトウェアを含むすべてのデータを別の場所へコピーしてください。ユーザーマニュアルや一部のソフトウェアは、www.lacie.com/support/からもダウンロードできます。

注記: ストレージ デバイスのフォーマットとパーティションについては詳しくは、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

Mac

1. ストレージ デバイスがコンピュータに接続され、マウントされていることを確認してください。
2. [ファインダ] メニュー バーの[移動] メニューから[ユーティリティ] を選択します。
3. [ユーティリティ] フォルダで、[ディスク ユーティリティ] をダブルクリックします。

[ディスク ユーティリティ] に、[ディスク、ボリューム、またはイメージを選択してください] というメッセージが表示されます。接続したすべてのストレージ デバイス、パーティション、またはディスク イメージがこのコラムに表示されます。このコラムに表示されたストレージ デバイスは、複数回リストアップされている場合があります。一番上の名前は物理デバイスのメーカーの名前であり、フォーマット済みの容量についての情報が含まれています。

4. 左側の列でハード ドライブを選択します。
5. [消去] タブをクリックします。
6. ドロップダウン ウィンドウからフォーマットを選択します。ファイル フォーマットの選択について詳しくは、「[ファイル システム フォーマットについて](#)」を参照してください。
7. ボリュームに名前をつけます。
8. [消去...] をクリックし、ポップアップ ウィンドウで選択を確定します。

Windows

1. ストレージ デバイスがコンピュータに接続され、マウントされていることを確認してください。
2. [コンピュータ] を右クリックし、[管理] を選択します。[管理] ウィンドウで、[ディスクの管理] を選択します。
3. [ディスクの管理] ウィンドウの中央に表示されるストレージ デバイスの一覧で、LaCie デバイスを探します。
4. デフォルトでは、LaCie ソフトウェア ユーティリティを収録したパーティションがデバイス上に既に作成されています。オペレーティング システムの指示に従って既存のパーティションをリセットします。
5. 新しいパーティションを作成するには、[New Simple Volume (新規シンプル ボリューム)] を選択します。[新規シンプル ボリューム] ウィザードが表示されたら、画面上の指示に従います。

ヘルプが必要な場合

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

テクニカルサポートへお問い合わせになる前に

1. このマニュアルをよくお読みになり、「トラブルシューティング」を再度ご確認ください。
2. 問題点を明確にしてください。可能であればCPU上の外付けデバイスを本製品だけにして、全てのケーブルが正しくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

「トラブルシューティング」のチェックリストに全て目を通し、問題が該当しないかを確認願います。それでも本ドライブが正常に動作しない場合は、下記のURLより窓口をご確認ください。

ラシー テクニカルサポートセンター www.lacie.jp/support/index.html

情報	確認箇所
1. LaCie ハード ディスクのシリアル番号	デバイス背面のシール、または納品時の梱包箱にあります。
2. Macintosh/PC の機種	Mac をご使用の方：メニューバーの Apple アイコンをクリックし、[この Mac について] を選択します。 Windows をご使用の方：[マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] > [全般] を選択します。
3. オペレーティング システムのバージョン番号	
4. プロセッサの速度	
5. コンピュータ メモリ	
6. コンピュータにインストールされている内蔵および外付け周辺機器のメーカー名とモデル名	

トラブルシューティングのトピック

注記: 製品の問題解決に非常に便利なインタラクティブトラブルシューティングを www.lacie.com/support/ でご利用いただけます。製品を選択して [トラブルシューティング] タブをクリックしてください。

Thunderbolt 2 の接続 (Mac)

問題: Thunderbolt 2 ポートを使用するとき、LaCie d2 を参照できません。

Q: 同じポートに他の Thunderbolt テクノロジーのデバイスを接続していますか?

A: 他の Thunderbolt デバイスを取り外し、デスクトップにそのボリュームが表示されるかどうか確認してください。

Q: ボリュームのアイコンはデスクトップに表示されますか?

A: デスクトップにストレージのドライブアイコンが表示されるはずですが、**[Finder (ファインダ)] > [Preferences (環境設定)] > [General (一般)]** でアクセスできる [Finder] の環境設定で、デスクトップに外付けハードドライブを表示するように選択されていることを確認してください。

Q: 筐体に接続されているコンピュータは、Thunderbolt 2 テクノロジーまたは第一世代 Thunderbolt テクノロジーに対応していますか?

A: Mac での Thunderbolt テクノロジーの接続タイプは、Mini DisplayPort です。旧式の Macintosh コンピュータには Mini DisplayPort が搭載されていますが、モニタの接続のみに使用されています。旧式の Mac の Mini DisplayPort は、Thunderbolt テクノロジー周辺機器には対応していません。

Q: 正しい手順でインストールを行いましたか?

A: インストール手順を再確認し ([接続](#))、Thunderbolt テクノロジー ケーブルの両端がポートにしっかりと接続されており、付属の電源装置から電力がデバイスに供給されていることを確認してください。

Q: モニタで使用していた旧式の Mini DisplayPort ケーブルで、筐体をコンピュータに接続しました。ボリュームがデスクトップに表示されないのはなぜですか？

A: ストレージには、Thunderbolt テクノロジー専用構築されたケーブルが必要です。LaCie デバイスに同梱されている Thunderbolt ケーブルを使用してください。

Q: Thunderbolt テクノロジーに対応しているケーブルをコンピュータに接続しましたが、筐体の (a.) 電源が入りません、または (b.) 電力が不十分です。

A: Thunderbolt 筐体には、付属の電源装置からも電源を供給する必要があります。 [接続](#)を参照してください。

Q: Thunderbolt テクノロジー ケーブルの両端がしっかりと接続されていますか？

A:

- 同梱の Thunderbolt ケーブルのみを使用してください。
- Thunderbolt テクノロジー ケーブルの両端を調べ、両端が各ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。
- Thunderbolt テクノロジー ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。
- それでもドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。

USB 3.0 (PC/Mac)

問題: ファイル転送速度が遅い。

Q: ハードドライブが USB 3.0 経由で、コンピュータやハブの USB 2.0 ポートに接続されていますか?

A: ハードドライブがコンピュータの USB 2.0 ポートまたはハブに接続されている場合、これは異常ではありません。 SuperSpeed USB 3.0 デバイスは USB 3.0 ポートまたはハブに直接接続された場合のみ、USB 3.0 のパフォーマンス レベルで動作します。これ以外の場合、USB 3.0 デバイスは低速の USB の転送速度で動作します。

Q: USB 3.0 ハブ、ホストハブアダプタ、または周辺機器接続デバイスを使用していますか?

A: お使いの USB 3.0 デバイスに、SuperSpeed USB 3.0 ドライバが正しくインストールされていることを確認してください。不確かな場合は、ドライバをアンインストールして、再度インストールしてください。

Q: お使いのコンピュータまたはオペレーティングシステムで、SuperSpeed USB 3.0 がサポートされていますか?

A: 製品パッケージ、または製品サポートのウェブページ www.lacie.com/support/ を参照して、最小システム要件を確認してください。

Q: コンピュータの内蔵ハードドライブが転送速度に制限を課していますか?

A: コンピュータの内蔵ハードドライブの性能が低い場合 (特にノートブックまたはネットブックコンピュータでこの状況がよく見られます)、内蔵ハードドライブの転送速度が LaCie ハードドライブよりも大幅に低いため、転送速度が制限されます。

一般

問題: ハードドライブが切断されたというエラーメッセージが表示されます。

Q: コンピュータがスリープモードから復帰するときに発生しましたか?

A: このメッセージは無視していただいて結構です。ハードドライブがデスクトップに再マウントされます。LaCie ハードドライブは、コンピュータにスリープモードが設定されているとき、スピンダウンによって消費電力を削減します。コンピュータがスリープから復帰するとき、スリープモードからスピンアップするために少し時間を要するため、コンピュータによってハードドライブが取り外されたと認識される場合があります。

問題: 表示されている利用可能な容量が正しくないとされます。

Q: 大量のファイルをハードドライブからごみ箱に移動したばかりです。なぜ、これは表示される利用可能な領域に反映されないのですか?

A: ファイルを完全に消去するまで、ディスク容量は再度使用可能になりません。ファイルを完全に削除するには、ごみ箱を空にしてください。

Q: 表示よりもボリューム容量が小さいのはなぜですか?

A: フォーマット後にハードドライブで使える容量は、パッケージに表示されているものよりも少なくなります。この違いは、オペレーティングシステムが容量を計算する方法に起因しています。たとえば、500,000,000,000 バイトを保存できるハードドライブは、1,000,000,000 で割って 500GB と表示されます。これが、メーカーの箱に記載された実際の容量です。オペレーティングシステムの計算方法は少し異なり、500,000,000,000 を 1,073,741,824 で割って 466GB と算出されます。

Mac

問題: ハード ドライブがコンピュータに表示されません。

Q: Finder が、デスクトップにハード ドライブを表示するように設定されていますか?

A: **[Finder (ファインダ)] > [Preferences (環境設定)] > [General tab (一般タブ)] > [Show these items on the desktop: (これらのアイテムをデスクトップに表示)]**を確認してください。 **[Hard Disks (ハード ディスク)]**が選択されていることを確認します。

Q: 正しい手順でインストールを行いましたか?

- A:
- インストール手順を再確認してください ([接続](#))。
 - 電源が、機能しているコンセントまたは電源タップに接続されており、LaCie d2 と電源タップ (ある場合) の電源ボタンがオンになっていることを確認してください。
 - インタフェース ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートにきちんと取り付けられていることを確認してください。
 - ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。
 - それでもハード ドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。
-

問題: ファイル転送のエラー メッセージが出ます。また、Time Machine が動作しません。

Q: ストレージへのコピー中に "Error -50" (エラー-50) というメッセージが表示されましたか?

A: ファイルまたはフォルダをコンピュータから FAT 32 ボリュームにコピーする場合、コピーできない文字があります。コピーされない文字には次のようなものがありますが、これだけには限りません。

? < > \ :

FAT 32 ファイル システムは最適なパフォーマンスを引き出せないため、本製品での使用はお勧めしません。ファイル システム選択のガイドについては [フォーマットおよびパーティション \(オプション\)](#) を参照してください。さらに、Time Machine は、HFS+ または HFS+ (Journaled) でフォーマットされたハード ドライブのみに対応しています。Time Machine に対応させたい場合は、ハード ドライブを適切にフォーマットしてください。

Windows

問題: ハード ドライブがコンピュータに表示されません。

Q: USB 3.0 ケーブルの両端がしっかりと取り付けられていますか?

A:

- USB 3.0 ケーブルのみを使用してください。
- ケーブルの両端を調べ、両端がそれぞれのポートにきちんと取り付けられていることを確認してください。
- ケーブルを取り外し、10 秒経ってから再度接続してください。
- それでもハード ドライブが認識されない場合、コンピュータを再起動して、もう一度接続し直してください。

Q: 電源が接続されていますか?

A: 電源が、機能しているコンセントまたは電源タップに接続されており、LaCie d2 と電源タップ (ある場合) の電源ボタンがオンになっていることを確認してください。

Q: ハード ドライブが [デバイス マネージャ] に表示されていますか?

A: すべての LaCie ハード ドライブは、[デバイス マネージャ] の最低 1 箇所に表示されます。

[デバイス マネージャ] にアクセスするには、メニューで **[Start (スタート)]** をクリックし、**[Run (実行)]** を選択します。Windows Vista では、デフォルトでは [名前を指定して実行] のオプションが表示されません。そのため、[Windows ボタン] と [R] をキーボードで押します。

次のコマンドを入力します: **devmgmt.msc**

OK をクリックすると、[デバイス マネージャ] プログラムが開きます。トラブルシューティングについては、**ディスク ドライブ** のセクションを参照してください。左側の **+** をクリックすることが必要な場合があります。

ハード ドライブが表示されているかどうかははっきりしない場合は、ケーブルを取り外し、その後接続し直します。変更される項目が、LaCie ハード ドライブです。

Q: 通常と異なるアイコンの横にハード ドライブが表示されていますか?

A: Windows デバイス マネージャでは通常、アクセサリの故障について情報を提供できます。正確な原因や解決策は表示しませんが、ほとんどの問題のトラブルシューティングを支援できます。

問題のあるデバイスは、通常と異なるアイコンによって識別できる場合があります。デバイスのタイプに基づく通常のアイコンの代わりに、感嘆符、疑問符、Xなどの記号になります。

このアイコンを右クリックし、[**Properties** (プロパティ)] を選択します。【一般】タブに、デバイスが動作していない原因が表示されます。

それでも動作しない場合は、ハードウェアの欠陥などの問題があるかもしれません。 www.lacie.com/support/ までお問い合わせください。

注意

注意: シールドタイプの電源コードが FCC 放出規制を満たし、付近のラジオやテレビの受信障害を防止するため、必ず製品付属の電源装置のみを使用してください。

注意: 遵守責任を有する団体による明確な承認を受けずに本機器に変更または修正を加えた場合、ユーザーは本機器を操作する権利を失うことがあります。

重要な情報: 本製品の使用中に生じたデータの損失、改造、破壊は、お客様ご自身の責任であり、いかなる場合であっても LaCie はそのデータの回復または修復について責任を負いません。データの損失を避ける手段の1つとして、データのコピーを2回行うことをお勧めします。例えば、外付けハードディスクに1回コピーし、内部ハードディスクや別の外付けハードディスク、またはリムーバブルストレージメディアにさらに1回コピーします。バックアップに関する詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

重要な情報: 1TB (テラバイト) は 1,000GB です。1GB は 1000MB です。1MB は 1,000,000 バイトです。利用可能なストレージ容量は、動作環境によって異なります (通常は、1 TB につき最大 10% 減少)。

健康および安全上の注意

- 本デバイスの保守は、有資格者のみが行うようになっています。
- デバイスの設定にあたっては、本ユーザー マニュアルを十分に読み、正しい手順に従ってください。
- ディスクドライブを開けたり、分解または改造しないでください。感電、火災、ショート、有害な放出などの危険を避けるために、本製品に金属物を挿入しないでください。LaCie ハードドライブに同梱されたディスクドライブには、お客様ご自身で修理可能な部品は一切含まれていません。故障が起きたと思われる場合は、有資格の LaCie テクニカル サポート スタッフに点検をご依頼ください。
- デバイスを雨のかかる場所で使用したり、水の近く、または湿気の多い場所、濡れた状態で使用しないでください。LaCie ハードドライブの上には、中に液体の入ったものを置かないでください。こぼれた場合に、装置の開口部分から液体が中に入る恐れがあります。これにより、感電、ショート、火災、けがなどの危険性が高まります。

一般的な使用上の注意

- 電源要件は、100-240 V~、50 ~ 60 Hz となっています (過電圧カテゴリ II に従って、供給電源の変動範囲は公称、過渡過電圧の ± 10% 以内に収まるようにしてください)。
- LaCie ハードドライブは、温度 5°C ~ 30°C、動作湿度 10 ~ 80% (結露なし)、保管湿度 5 ~ 90% (結露なし) の範囲内に保ち、その範囲外の温度や湿度には晒さないでください。この範囲外の温度・湿度に晒すと、装置が損傷したり、ケースが変形することがあります。また、LaCie ハードドライブを熱源の近くに置いたり、直

射日光 (窓越しの直射日光も同様) に当てないでください。逆に、極端に低温の場所または湿気の多い場所に置くと、LaCie ハードドライブが損傷する恐れがあります。

- 定格冷却能力は、高度 2000 メートルまでとなっています。
- ドライブに電源ケーブルがある場合、落雷の恐れがあるとき、または長期間使用しないときは、必ずドライブのプラグを電源コンセントから抜いてください。プラグを差し込んだままにすると、感電、ショート、火災の危険性が高まります。
- 本製品に同梱されている電源装置のみを使用してください (該当する場合)。
- LaCie ハードドライブをテレビ、ラジオ、スピーカーなど他の電気器具の近くで使用しないでください。そのような器具の近くで使用すると干渉を起こし、他の製品の動作に悪影響を及ぼします。
- LaCie ハードドライブをコンピュータのディスプレイ、テレビ、スピーカーなど、磁気干渉を起こすものの近くに置かないでください。磁気干渉により、LaCie ハードドライブの動作や機能の安定性に影響を及ぼすことがあります。
- LaCie ハードドライブに過度の負荷をかけて使用しないでください。問題が出た場合は、このマニュアルの「トラブルシューティング」を参照してください。
- LaCie ハードドライブの使用または保管にあたっては、埃の多い場所を避けてください。デバイス内に埃が蓄積すると、損傷や故障の原因となります。
- LaCie ハードドライブの外側を清掃する場合は、ベンジン、塗料用シンナー、洗剤、その他の化学製品を使用しないでください。これらの化学製品により、ケースが変形したり褪色することがあります。柔らかい乾いた布でデバイスを拭いてください。

保証について

エレコム株式会社は、日本市場向けのLaCie製品を販売しています。本製品のテクニカルサポートおよび保証期間内の無償修理は、エレコムグループが対応いたします。

保証内容

- 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます）内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または同等製品への交換をいたします。

無償保証範囲

- 以下の場合には、保証対象外となります。
 1. 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
 2. 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、または本製品のご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
 3. 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 4. 弊社及び弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理がおこなわれている場合。
 5. 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 6. 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 7. 本製品をご購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
 8. 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 9. その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が発見された場合。
 10. 本製品を日本国外でご購入された場合。

修理

- 修理のご依頼は、保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
- 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 修理・もしくは同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
- 有償、無償にかかわらず修理等により交換された本製品またはその部品等は返却いたしかねます。
- 記憶メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際には、データの保全本は行わず全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
- 故障とは、本製品が本製品の仕様に定める通りに機能しないことを指します。外観損傷（本製品の傷や破損）については保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。

免責事項

- 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行及び不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償・復旧等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

有効範囲

- 保証書は、日本国内においてのみ有効です。保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。日本国外ではその国の法律・規制により使用ができない、もしくは罰せられることがあります。弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

重要な情報: 保証に関するご不明点は、弊社テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください
サポートURL
www.lacie.jp/support/index.html

法律関係の情報

著作権

Copyright © 2015 LaCie. All rights reserved. 電子、機械、コピー、記録など、様式や手段の如何を問わず、本書のいかなる部分も当社の書面による事前の承諾なしで複製、読み出しシステムでの保存、伝送を行ってはなりません。

変更について

本書に記載されている情報は参考のみとして提供され、予告なく変更されることがあります。本書の作成にあたっては正確さを期していますが、本書に掲載された情報の誤謬または省略に起因する、あるいは本書に記載する情報を利用した結果により生じる損害に対して、当社は一切の責任を負いません。当社は、無条件で製品の設計または製品マニュアルの変更や改訂を予告なく実施する権利を有します。

米国連邦通信委員会 (FCC) の電波障害についての声明文

本装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠したクラス B デジタルデバイスの制限値に適合していることを、試験により確認されています。これらの規制は、一般家庭で取り付けた場合に、有害な障害に対する適宜な保護を提供するために定められています。本装置は無線周波数を発生および使用し、また放射する可能性があるため、指示通りに設置および使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらす恐れがあります。ただし、特定の設置で妨害が生じないという保証はありません。本装置がラジオ、テレビの受信に有害な干渉を及ぼし、その原因が本装置の電源のオン/オフによるものであると判断した場合、次に記す処置により、その干渉の是を試みることをお勧めします。

1. 受信アンテナの向き、または位置を変える。
2. 本装置と受信機の距離を離す。
3. 受信機が接続されているものとは異なる別系統のコンセントに、本装置を接続する。
4. 販売代理店または経験豊かなラジオ / テレビ技術者に相談する。

FCC についての注意：製品の適合を管轄する団体による明示的な承認を受けずに変更または修正を加えた場合、ユーザーは本装置を操作する権利を失うことがあります。

本機器は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に基づきます。(1) 本機器は有害な電波障害の原因となってはならない。(2) 本機器は誤動作の原因となる妨害を含め、受信する妨害を許容しなければならない。

重要な情報：FCC の被爆についての声明文：本装置は、無管理の環境に対する FCC の被爆限度に準拠しています。本装置は、放射物と人体の間に最低 20 cm の距離をおいて設置・操作してください。

このトランスミッターを他のアンテナやトランスミッターと同じ場所に置いたり、併用動作を行ってはなりません。一部特定のチャンネルおよび/または動作周波数帯を使用できるかどうかは国によって異なり、出荷先に合うように工場ではファームウェアにプログラミングされています。エンドユーザーは、ファームウェアの設定にアクセスできません。

WEEE



本製品または梱包箱に示されたこの記号は、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならないことを意味します。電気・電子製品廃棄物のリサイクルを行う所定回収場所に該当機器を持ち込んで処分することは、ユーザーの責任とします。他のゴミと分別して機器廃棄物の回収や再利用を行うことで、自然資源の保護に役立ち、人々の健康や環境を保護するような形でリサイクルできるようになります。機器廃棄物をリサイクルする際の回収場所に関する詳細は、お住まいの地方自治体の家庭廃棄物担当部署または本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

CE 認証に関する製造業者の宣言



当社 LaCie は、本製品が以下の欧州規格に準拠していることを明言します。電磁適合性指令 (2004/108/EC); 低電圧指令: 2006/95/EC

商標

Apple、Mac および Macintosh は、Apple Inc. の登録商標です。Microsoft、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 は、Microsoft Corporation の登録商標です。本書に記載されているその他の商標は、関連各社に帰属します。

カナダ適合規定

本クラス B デジタル機器は、カナダ干渉発生機器規定 (Canadian Interference-Causing Equipment Regulations) のすべての要件を満たしています。

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

日本適合性宣言

本製品は、VCCI (情報処理装置等電波障害自主規制協議会) の基準に基づく B 種の製品です。この装置をラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。マニュアルにしたがって設置してください。この文は、LaCieのCloudBoxには適用されません。